

第3学年1組 学級活動案

平成21年12月8日（火）第3校時
 授業者 T1 教諭
 T2 養護教諭

1 題材 命のつながり（保健指導）

2 題材設定の理由

昨今、子どもをとりまく社会情勢は大きく様変わりしている。連日のように報道される嫌な事件は後を絶たない。今やこのような事件は他人事ではなく、身近な問題として考えなければならないことといえるだろう。そのためにも、折にふれては命の大切さや家族の愛情について考えていくことは児童にとって大変重要なことと考える。

児童たちの普段の生活の様子を見ていると、自分ではそうと気づかずに、友達に対して思いやりのない態度を取ったり、心ない言葉で傷つけたりする児童が見受けられる。そこでこの指導をきっかけに命のつながりについて気づき、お互いの命を大切にする気持ちを持てる学級にしたいと考え、この題材を設定した。

3 児童について

児童たちは2年生の時に、保健指導「ぼく、わたしが生まれたよ」を学習している。自分が成長できたのは周囲の人々の深い愛情によるものであり、自分の命を大切にすするための手立てについて学んだ。

また、国語「ちいちゃんのかげおくり」では戦争で失われた命について深く考えることができ、道徳「いのちのまつり」では受け継がれていく命の大切さについて学んだ。

先日行った嶺北養護学校との交流学习では、ダウン症の児童とふれあった。時間をかけて、この児童に喜んでもらうための手立てをグループで考えて準備してきた。自分では話すこともできないこの児童が喜ぶ様子を見られたことで、児童たちは大きな満足感と充足感を得ることができたようだ。後日、この交流学习を題材に授業を行う予定である。

4 指導について

児童たちは2年生の時に生活科「あしたへジャンプ」で自分が生まれた頃から現在までの成長と自分の成長を支えてくれた人たちの思いについて学習してきた。まずは、生活科の学習を思い出させたい。児童がこれまでに学習してきた流れを念頭に置きながら、実際に赤ちゃん人形を抱いて、大きさや重さを実感させていく。動作化を取り入れることで、イメージをつかみやすくする。その上で自分の命がどこから始まったかを考えさせ、命のつながりに気づかせていきたい。

部会テーマ「友達の違いを受けとめ、話し合う子どもの育成」を受け、命の大切さについてお互いの思いを話し合い、お互いを大切にする学級をめざしていきたい。

5 本時の目標

これまでの周りの人々からの愛情を知り、自他の命を大切にする気持ちを持つことができる。

6 準備物

お母さんの写真 家族の絵カード 赤ちゃん人形 CD（心音・産声）
 ワークシート 新聞記事

7 本時の学習過程

学 習 活 動	T1 支援（・）と評価（☆）	T2 支援（・）と評価（☆）
○2年生の時に学習した内容を思い出し、今日の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">命のつながりを知り、命の大切さを 知ろう。</div>	・2年生を確認しながら課題を確認させる。	・2年生時に学習した内容を思い出せるようにする。
○カウントダウンで体を小さくしていく。	・カウントダウンで9年前に戻ること	・お腹の中での胎児の様子を伝えながら刻

<p>○生まれてくる様子を動作化する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問題 1 赤ちゃんは生まれた後はどうやって育ったのだろう。</p> <p>○予想を記入し、その理由を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アだと思う。食べ物があれば体が大きくなっていくから。 ・イだと思う。生活科の「あしたへジャンプ」で学習したから。 <p>○赤ちゃん人形を抱いて、大きさや重さを体験し、気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思ったより重い。 ・このように重い赤ちゃんをお世話するのは大変だと思う。 <p>○問題 1 の答えがイであることを確認し、自分でチェックする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問題 2 わたしの命はお母さんのお腹の中から始まったのだろうか。</p> <p>○予想を記入し、その理由を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウだと思う。「いのちのまつり」でご先祖様の話を学習した。 <p>○命はつながっていることに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご先祖様の誰か一人が欠けても自分は生まれてこなかった。 <p>○問題 2 の答えがイであることを確認し、自分でチェックする。</p> <p>○命についてわかったことや思ったこと、考えたことなどを書き、発表する。</p>	<p>を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんのお腹に入ったことを知らせる。 ・ワークシート 1 を配り、問題 1 を読む。 <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃん人形を用意する。 ・児童の驚きに共感しながら、活動を支援する。 <p>☆自己評価を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題 2 を読む。 <p>☆自己評価を確認する。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年の犯罪や大切な命を奪う残虐な最近の事件について話す。 ・思いを表現しようとする気持ちを大切に、感想を丁寧に聞く。 <p>☆生命が受け継がれていることに気づき、自他の命を大切にしようとする気持ちが持てたか。(ワークシート・発表・態度)</p>	<p>々と生まれる時が近づいてきたことを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抱き方、重さ、友達への渡し方など心配りが必要なことに気づかせる。 ・生まれてからの 9 年間大切に育てられてきたことに気づかせる。(ワークシート) <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを使い、命の始まりは何代も前であり、命はつながっていることを説明する。(ワークシート)
--	--	--

☆授業の観点

動作化や赤ちゃん人形を抱く体験は、命のつながりや大切さを感じるために有効であったか。